

雑誌・広報委員会

委員長	脇村 重徳 (有 田)
委員	河合 真吾 (河内長野東)
委員	浦川 信司 (岸和田)
委員	松澤 政彦 (富田林)
委員	杉本 義和 (新宮)
委員	竹中 喜廣 (和歌山)
友委員	中谷 新治 (粉河)

2007-08 年度活動計画

(基本方針)

皆さんは今まで「ロータリーって一体何をしているの?」という質問を何度受けたことでしょうか。ロータリーの活動はあまり知られていないのです。私たちは、地域社会の人々にロータリーの素晴らしい仕事ぶりを知ってもらわなくてはなりません。

広報 (Public Relations) は、情報を大衆に伝えることですが、そもそもは組織と公衆との間に良好な関係を築くための行動ですから、広義では、社会の声に耳を傾ける広聴が必要で、組織と社会のコミュニケーションということになります。

社会と関わる時は、相手が受け取れる球を投げないと意味がありません。相手にきちんと受け取ってもらえる球は、社会のニーズや期待に応える行動から生まれます。私たちの奉仕プロジェクトは、地域社会のために実施するわけですから、ロータリーの宣伝や地域社会の人々とのコミュニケーションにはうってつけの球なのです。

R I は、公共イメージキャンペーン「人類のために活動する」を始め、メディアによる広報、看板広告、口コミなど様々な方法でロータリーの善行を伝えています。つまり、私たちの業績をメディアに載せてもらうことだけが広報の目的ではなく、一般の人々にロータリーを理解していただく行動は、全てロータリーの広報活動であると捉えるべきです。折角、新聞に載っても、読者が関心を示して読んでくれなければ何の意味もないからです。

私たちが目指す広報は、普段から人々とのコミュニケーションを通じて地域社会と良い関係を築き、公共の認知度を高める行動であり、その実践は「Rotary Shares」にほかなりません。一人でも多くのロータリーファンをつくり、ロータリーに対する理解と共感を得ることが、在籍会員の誇りと熱意を増進し、会員増強にもつながるのです。

ロータリー広報の目的と必要性を踏まえ、当委員会は「地区 I T 委員会」や「友の地区区委員」と連携し、クラブ運営の活性化とクラブ目標の達成を支援します。

(活動計画)

1. 各クラブから有意義な奉仕活動などの情報を数多く提供していただくため、当委員会の活動内容を機会あるごとに宣伝する。
2. 地区内クラブが相互の情報交流を円滑に進めるため、成功を収めた奉仕活動は、地区HP上の「クラブの広場」に紹介する。
3. 当地区の活動情報を地区外へ発信するため、「友の地区区委員」が中心となって、優れたプロジェクトを「友」誌の「地区のたより」などに投稿する。
4. 「友」誌の積極的な購読と有効活用を促すため、毎月はじめ、「友」誌のダイジェスト版をHPの「地区活動」に掲載する。
5. 人々との友好関係を築き認知度を高めるため、立派に完遂された奉仕活動は、メディアや看板広告などを使って地域社会に広める。